

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	シェフィールド大学
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2000 円	SIM カード
現地通学費	0 円	(研修先まで 35 分)徒歩で通っていました。
教養娯楽費	30000 円	
被服費	40000 円	大学パーカーなど
雑費	51000 円	お土産など
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	153000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にないです。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で少しポンドに変えましたが、ほぼクレジットカードを使っていました。キャッシュオンリーのお店やカードオンリーのお店もあるので現金は少し持っていると思えば安心だと思います。クレジットカードは限度額があったので、私はデビットカードも持って行って正解でした。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードを日本にいたときに用意をしたものを使いましたが問題なかったです。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
消臭スプレー(洗濯が週に1度くらいのため)、爪切り、ティッシュペーパー、お手拭き(イギリスはお店にもお手拭きがないので、食べる前によく使いました)、肩掛け鞆(ちょっとしたお出かけで便利です)、長袖の服(普段長袖を着ることが多く、半袖であれば上に羽織れるものがあると思います)、水筒、モバイルバッテリー、日本からのお土産(ホストファミリーや他国出身のクラスメートに)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
地下鉄に乗るときなど肩掛け鞆は前に持ってきて、常に見えるようにしていました。また鞆を置いて行動するときは友達に鞆を見てもらっていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校とホームステイ先では Wi-Fi を使いその他は SIM カードを使っていました。特に困ったことはなかったです。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>何時にお風呂に入るかなど時間帯をずらすなどホストファミリーと話しておくと思いたいです。</p> <p>部屋で履くものはスリッパや、平べったいサンダルなどがいいと思います。私は、部屋は割と足音が聞こえたりしたので、なるべく音が出ないものを履くといいと思います。</p> <p>ドライヤーを使う時もあまり遅い時間にならないように意識していました。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	
<p>イギリス文化を学んで日本との比較を行ったことです。特にイギリスの食事では知らないことが多く新鮮でした。知らないことを知れたときはホストファミリーと家でも話したりもしました。</p> <p>午前中は TED talk のテキストを使いながらディスカッションを交えながらの授業でした。グループ編成を先生がしてくださって、いろいろな人と意見交換できる良い機会になりました。</p> <p>午後の授業は 4 つの選択肢から 1 つ選びその科目を学んでいきます。</p>	
2) 課外プログラムについて	
<p>授業が終わった後のアクティビティーではフットボールや卓球、バスケットボール、バドミントンなど曜日や時間ごとにどのスポーツをやるか決まっていて、自分が参加したいと思ったら、予約をして参加できるものです。私はバドミントンに参加しましたが、タイや台湾出身の子たちとミニゲームをしました。クラス以外の子と話す機会にもなります。土曜日に大学のプログラムでイギリスのシェフィールド以外の日帰り旅行がありました。自分たちで行くよりも安く行くことができます。</p>	
3) 滞在先・現地での生活に関すること	
<p>ホームステイ先では、朝食はパンで昼は自分たちで購入したものを食べ、夜はホストファミリーと一緒にホストマザーかホストファザーが作ってくれたものを食べました。夜はホストファミリーと一緒になるべく食べようと思っていたので、18 時くらいには家にいることが多かったです。そのおかげでホストファミリーとほぼ毎日会話しながら食事しました。朝はその日の予定や、天気について話すことが多く、夜はその日あったことや日本、家族、イギリスのことなど様々なトピックを話しました。頭に思い浮かんだことは話すように心がけていました。観光に行く際にはホストファミリーのおすすめの場所を教えてくださいました。</p> <p>またシェフィールドは自然豊かでロンドンと比較すると治安がいいと感じました。</p>	

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は高校生の時から留学に行きたいと思っていたのですが、コロナ禍などの理由から行くことが出来ませんでした。もともとイギリスの街並みなどが好きでいつか行ってみたい国のうちの一つでしたし、今回のプログラムはホームステイだったことが参加する決め手になりました。留学に行ったらホームステイを体験したいと考えていました。ホームステイだと必然的にホストファミリーと話しますし、実際にイギリスの習慣や文化を自分の目で見て感じる事ができると思ったからです。よくイギリスのご飯はおいしくないと言われてるのを日本にいるときに調べていて目にしたり、人から言われていましたが実際に行くとおいしかったです。ホストマザーが料理上手な方でどの料理もおいしかったです。レストランでもおいしくないと感じたことはなかったです。

最初はホストファミリーの言っていることが理解できないこともたくさんありましたが、そのたびにもう一回聞いたりわからない単語を聞いてみると、ほかの単語で説明してくれたり、ジェスチャーを使って説明してくれました。たとえ文法が間違えていてもその場でこう言ったほうが良いよと教えてくれるので、思ったことは口に出すよう心がけていました。

1 カ月日本を離れる経験はしたことがなかったですし、留学も今回が初めてだったので不安や緊張などの気持ちになりましたが、最終的には帰りたくないと思うほどのホストファミリーが恋しいと思いました。非常に貴重な経験ができたと思っています。この経験からより英語に興味をもち、もっと英語を話せるようになりたいと強く思いました。留学に迷っている方は、少しでも興味があったら挑戦してみてください。実際に自分で見るのと人から聞くのとは違うと思いましたが、異文化に触れて日本を見つめなおすいい機会です。また夏の時期のイギリスは長袖で過ごせるほど涼しく快適です。他国の人と話すこともできて異文化の理解や受け入れる大切さも学びました。学ぶことが多かった1カ月でした。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	100,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9,900 円	
現地通学費	4,000 円	(研修先まで 25 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	8,000 円	
雑費	0 円	
その他	200,000 円	例: 旅行などの娯楽費
その他	20,000 円	例: お土産代
合計	350,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
コロナ禍後だったなどで特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で5万円をポンドに変換 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前にどれがいいかを比較衡量した上で、eSIMにした。入れ方は至って簡単で、イギリスで50Gb 使えるバックを買って、もし足りなくなったら現地でももう一回買い足しました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬などの医療品は、未開封の状態で行くと助かります。ティッシュなども、ホームステイ先によってはないところもあるので、持って行くと便利。日本食をあまり準備していなかったのだが、準備しておくべき。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
自分の大事なものには airtag という GPS をつけていた。財布も二つに分けて、よく使う方にはクレカ、もう一個はデビットを入れて、部屋にずっとしていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

eSIM が無難。Ubiqui か holafly を使っておけば、だいたいインターネットには困らない。学校から提案される wi-fi を使っている人もいたが、充電したり速度遅かったりと、あまり使い物になっていなかった印象。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	当たり外れが大きかった印象。自分のホームステイ先は結構あたりだった。基本的に連絡さえしっかりとっておけば事故は防げるから、しっかりと英語で連絡取ることも重要。家にいるときは基本的にリビングで生活をする。そうすることによって英語で会話せざるを得ない状況を作る。自分の友人の家は、リビングに居座ること禁止している家もあったので、そこになったら変えたほうがいいかもしれない。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	基本的に、英語を英語で学ぶというのはとても貴重な経験であるため、そこでの授業は日本に帰ってきてとても役に立つと感じた。また、午後のオプションクラスでは、自分達が何をそこで習得したいのかの希望を出して、レベルごとに分けられたクラスで授業を受けるのだが、私のクラスはディスカッションが多かったため、同じ英語レベルの人たちとの相互作用で、より英語力を高められた。
2) 課外プログラムについて	基本授業は 9:30~15:30 までで、その後はさまざまなスポーツやボードゲームなどのアクティビティに希望制で参加できる。もちろん、希望制なので参加しないという選択肢もあるため、ホストファミリーと過ごしたい人は全然帰っても問題ないし、近くに大型ショッピングモールがあるので、選択肢はたくさん用意されている。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	唯一のホームステイプログラムということで、色々準備が大変。手土産を用意して行ったり、メールのやり取りであったり、ハウスルールの確認など、そこらがまめにできない人には向いてない。また、ホームステイ先も向き不向きがある。あらかじめしっかりと希望調査票をしっかりと入力することをお勧めする。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修は、他の研修と比べて英語を使う機会がとて多い研修になっています。ホームステイ先での生活なので、是非その貴重な機会が無駄にならないためにも、準備からしっかりと行なってください。準備というのはもちろん語学面での準備も入ります。依頼表現など、最低限のフレーズはしっかりと覚えて、使えるようにしておくことをおすすめします。また、イギリスは観光名所がたくさんあり、旅行も毎週のように行っていました。その辺の計画もしっかりと立てて、学習面と娯楽面両方をしっかりと充実させていってください。全てはあなた次第で変わると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4,000 円	
現地通学費	16,000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	100,000 円	土日の旅行代(ヨーク、ロンドン、マンチェスター、リバプール)
被服費	53,000 円	古着やスニーカーを買いました
雑費	10,000 円	日用品を買い足しました。
その他	40,000 円	例:お土産など
その他	円	例:
合計	230,000 円	1 円=190 円でした。

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発日の当日、空港で 3 万円を交換しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
アマゾンで 100 ギガ、通話無制限の O2 という会社の SIM を用意しました。 気にしないで使用して 35 ギガしか使わなかったため、50 ギガもあれば足りると思います。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
水道水は飲むことができたので、水筒を持っていると水代を浮かせることができると思った。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に情報収集を行わなかったが、常に貴重品を気にかけていた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

自分はアマゾンで購入した O2 の SIM を使用していた。地下鉄やバスの中では繋がらないことが多々あった。基本的に電波が悪く電波が 4 本立っていることは一か月を通してあまりなかったように感じる。日常生活を送る程度だったので特に気にならなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

必要以上に介入をしてこない家庭だったので土日は自分たちで旅行の予定を立てたりすることができました。また思った以上にホストファミリーと話す機会が少なかったです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容

授業は大きく 2 種類あり、午前のクラス 90 分×2と午後のクラス 90 分で構成されていた。
午前のクラスは、文法や語彙を中心的に学ぶ。語彙や文法を会話の中でアウトプットできるので定着しやすかった。
午後のクラスは、イギリスの文化(絵画、音楽、オペラ)を中心的に学んだ。
学校でインプットしてホストファミリーとの会話でアウトプットをすることができたので、とてもよかったと感じている。

2) 課外プログラムについて

スポーツが多く用意されていたが参加者がほぼ日本人だったので、家に帰りホストファミリーと会話したほうが有意義であると考え参加しませんでした。

3) 滞在先・現地での生活に関すること

シェフィールドは急斜面が多く、想像以上に田舎であり公共交通機関もそれほど発達していなかったので移動が大変でした。
ほぼ必ず日本食が恋しくなるので、みそ汁やインスタント麺など日本を感じることができる食料を持っていくといいと思います。
シェフィールド市内はいろんなところで学割が使えるのでダメ元で学生証を出すことをお勧めします。実際に、靴屋で 10%割引してもらえました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修先を選んだ理由は、ホームステイという宿泊形態だったからです。日本とは異なる文化を体験したかったのでホームステイであるこの研修を選択しました。ホストファミリーとの生活の中で、自分にはない様々な考え方や文化を学ぶことができとても有意義な一か月間であり、留学をしてよかったと思いました。
このプログラムは語学力はないけど将来的に英語を話せるようになりたい方にお勧めだと感じています。留学前、自分は TOEIC400 点台で語学力の向上という目標は特に掲げておらず、漠然と海外で海外の文化に触れてみたいと考えていました。しかし、周囲の日本人で自分より喋れて、聞き取れている状況やホストファミリーに自分の思っていることをすべて伝えきれないことに悔しさを常に感じ、英語力を向上させたいと強く思うようになりました。このような感情が今後の語学学習に生きてくると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	43,000 円	レストラン、カフェ、スーパーなど
図書費	円	研修費用に含まれていたため不明
学用品費	円	研修費用に含まれていたため不明
携帯・インターネット費	3000 円	SIM カード購入
現地通学費	9000 円	(研修先まで 30 分) 学生証を見せると安く乗れました
教養娯楽費	円	
被服費	15,000 円	大学のパーカーなど
雑費	円	
その他	50,000 円	例: お土産など
その他	130,000 円	例: 現地での観光費や旅費など
合計	約 250,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で事前に両替(6万円ぐらい)。クレカが使えるれば現金はほぼ使わないと思います。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本で事前に SIM カードを購入。(使ったのは 16GB ぐらい)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
水筒(ペットボトルを毎日買うよりも節約になった) クレカ 2 枚(途中で上限を超えてしまい不便な期間があったため)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
危険なことは特にありませんでしたが、荷物の持ち方など周囲への警戒心は持つようしていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題なし。地下鉄やバスではたまに電波が悪いときもありました。
ホームステイ先や学校では電波に困ることはありませんでした。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	ホストファミリーと過ごした時間が一番の思い出というぐらい、ホームステイできて良かったなと思っています。 習慣や文化が異なるのは当たり前なので、その違いをどれだけ楽しめるかと、自分から主体的に行動することが大切だと思いました。 日本と海外のコミュニケーション文化の違いを理解し、自分から積極的に話しかけたり、きちんと言葉にして伝えたりすることが大事だと思います。私は、日本とイギリスの違い、英語の学習、現地での旅のプラン、今日あったことなどについてよく話していました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	発音やディスカッション、英語で学ぶ文法など。どれも日本での英語の授業とは異なる方法や内容が学べました。 緊張や不安があっても、まずは自分の意見を伝えてみるのが大事だと思いました。クラスの雰囲気は明るくて話しやすく、休み時間も英語で話したりしていました。
2) 課外プログラムについて	私は参加しませんが、大学主催の日帰り旅行のチケットは、自分で予約をするより費用を抑えられるので良いなと思いました。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	バスの運転手、ホテルやレストランの店員さん、道で出会う人、ホストファミリーなど、現地の人との会話や交流から、イギリスと日本の違いやイギリスの魅力を感じる事がよくありました。目が合った時、自分から笑いかけたり挨拶をしたりすると、そこから交流が広まりとても楽しかったです。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修先を選んだ理由は、イギリスに行きたかったことと高校生の頃経験したホームステイをもう一度してみたいと思ったためです。自分で電車やホテルを予約して旅行の予定を立てたり、交通機関に慣れていたり、現地での生活を通して新たな考え方や価値観に出会えるとても充実した一ヶ月でした。 学校は日本人の割合が多かったので、現地の人との交流は自主的に動くことが大切だと感じました。現地の人との交流を通して英語力を上げたい！と思う場合は、現地の人と交流できる場所へ自分から足を運んだり、ホストファミリーに自分からたくさん話しかけたり、そういった工夫や行動が必要だと思います。以前のホームステイでは受け身になってしまいホストファミリーとの関係性を築ききれなかったため、今回は、自分から積極的に話しかける、自分の部屋に籠りすぎない、挨拶は自分から、疑問点や謝るべきことは必ずすぐに伝える、などを気をつけていました。その結果、本当に良い時間を過ごすことができたと思っています。 私は四年生で就活がまだ終わりがきていないタイミングだったため、申し込むか初めは悩みました。今は、申し込んで本当に良かったなと思っています。悩むことや困ることがあっても、異文化に触れる中でその違いを楽しみ自分の考え方を変化させられたことや、自分の好きなこと大切なことを見つめ直すことができたのが、この研修を通して得たとても大きなものだったと感じます。学年を問わず、もし参加を迷っている人がいたら、他のプログラムと比較しながら、なぜこのプログラムを選ぶのかをしっかりと考えた上で、後悔しない選択をしてほしいです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80000 円	平日昼食+平日夕食外食+休日観光先での食事
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	45000 円	グローバル Wi-Fi
現地通学費	8000 円	(研修先まで 50 分) バス:25 分+徒歩:25 分
教養娯楽費	85200 円	観光に関する交通費、宿泊費+劇場費
被服費	10000 円	
雑費	0 円	
その他	30000 円	お土産
その他	750000 円	旅行会社に一括でお支払いした研修費用
合計	999200 円	研修費約 750000 円+現地でのクレジットカード約 250000 円

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
短期留学のため、ビザは取得していません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:「大黒屋」で4万円分換えてもらいました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
グローバル Wi-Fi のみ利用しました。 オリエンテーションでいただいたチラシのものを、4 ギガ高速 1 日 600 メガバイトで利用していましたが、学校の Wi-Fi 等が使えるため、容量はかなり余裕がありました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
コロコロ(掃除ローラー): ホームステイ先での自室の掃除に毎日利用していました。ホストファミリーも日本人の髪が抜けやすいことを気にしていたので、私がコロコロを見せた時、喜んでくれました。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ロンドンなど、特に危険と思われる場所はホストファミリーが普段の会話の中で教えてくれました。観光地に行くときは、クレジットカードやパスポートなど貴重品は、首からさげて服の中に入れていました。盗難等は特にありませんでしたが、かなり注意はしていました。他大学の子が、リュックの外ポケット(チャック等がないところ)にスマホを入れていたら、盗難の被害にあったそうなので、日本ほど安全な訳ではありません。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

グローバル Wi-Fi を利用していたため特に大きな問題はありませんでした。たまにつながりにくい時もありました。毎日充電は必須です。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
とても心優しく、温かいホストファミリーに恵まれ、素敵な一ヶ月を一緒に過ごさせてもらいました。わりと大きなお家だったため、シャワーとトイレは私専用でした。自炊は可能でしたが、一度もしていません。朝食と夕食は毎日用意してくれて、一緒に食べていたので、自炊の必要やお腹が空くことはありませんでした。一番大切なのは、ルールをしっかり理解して、それを守ることだと感じました。私は、最初、ルール説明の英語が速く、聞きとれなかったの、紙に書いてもらいました。これが大事だったと思っています。それから、コミュニケーションはとても大切だと思います。日常会話だけでなく、帰宅が予定より遅れるのなら、メールや電話で伝えて、お互いが今どうしているのかが常に分かっている状態を当たり前にしていくと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
シェフィールド大学での毎日の授業は、ディスカッションの時間が多く、いろいろなことを英語で話す機会となり、有意義でした。先生も陽気で楽しい時間でした。
2) 課外プログラムについて
平日の放課後に、スポーツやペインティングなどのアクティビティがあり、そこで、他の国からの留学生と交流できて、楽しかったです。私は参加していませんが、毎週土曜日にスクールトリップがあり、1000 円程度で観光地に行けます。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
毎日、予定を決めて、放課後や休日に一日一個は新しいことを経験すると、イギリスでの一か月をより充実したものにしていくと思います。私は、授業を受けただけの日や、どこにも行かなかった休日は、一日もありません。毎日何かするようにしていました。それから、留学中の生活は、これまでの人生で一番、規則正しく健康でした。シェフィールドはとても自然豊かな場所で、緑が広がり、きれいなお花もたくさんあります。毎朝、学校までの道のりで、顔をあげて深呼吸したくなる、素敵な街です。観光地だけでなく、シェフィールド散策もおすすめです。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はもともと、留学をするなら、ホームステイで生きた英語に毎日触れたいと考えていました。それがこのプログラムを選んだ一番の理由です。2023 年夏季で、ホームステイのプログラムはこのプログラムだけでした。行く前は、英語力をはじめ、不安なことばかりでしたが、行ってしまえば、なんとかなります。はじめの数日は、知らない土地での生活、すべて英語での日常に寂しさや不安、緊張が重なり、帰りたいと思った瞬間もありましたが、慣れてしまえば、とても楽しい毎日です。新しいことの連続で、毎日わくわくドキドキの日中と達成感と満足度の高い就寝前の時を過ごせました。ホームステイと聞くと、英語力が心配に思う人も多いかと思いますが、言語は違っても、相手は同じ人間です。分からなかったらゆっくり話してくれるし、難しい単語は翻訳を使えば大丈夫です。英語力が引っかかっている、迷っている人は、ぜひ挑戦してみることをお勧めします。私自身、英語は好きだけで、特にまわりよりできる訳でも得意な訳でもなく、かなり不安な状態で参加しましたが、なんとか一か月楽しむことができました。最後に、私はこの留学に参加できて本当に良かったと思っています。時には涙を流したこともあったけれど、その涙さえも、すべて留学に行っていなかったら、経験できなかったものです。この一か月は、必ず、あなたにとって忘れることのない、素敵な経験になります。単に英語力が伸びるということだけではなく、人として成長できること間違いなしです。ぜひ濃い時間を過ごしてください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	69,080 円	日々の水代や昼食代、または外食費など
図書費	6,170 円	るるぶ、地球の歩き方「イギリス」、英語で日本文化とときたりを伝える本
学用品費	0 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩で 30~40 分)
教養娯楽費	117,569 円	宿泊費や電車のチケット代の旅行費など
被服費	12,366 円	現地で購入した服
雑費	40,630 円	BF プラグ、海外用ドライバーとコテ、ダイヤルロック、ボディバッグなど
その他	23,000 円	例: ホームステイ先へのお土産とお礼の品、パスポート更新、証明写真
その他	275,416 円	例: お土産など
合計	544,231 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
パスポートの有効期限がギリギリ6か月であったため、急遽、更新手続きをすることになった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 銀行にて約3万円分を外国通貨両替した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)はどのように準備しましたか
・イギリスのSIMカードはAmazonで購入した。 ・グローバルWiFiは、(株)毎日エデュケーションから紹介されたものを申し込んだ。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
・エディンバラやロンドンで宿泊した際、ホステルに泊まったため、スリッパと耳栓が大変役に立った。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省海外旅行登録「たびレジ」を登録し、何か情報があれば、親からもLINEで連絡してもらっていた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

・Wifiなどの回線がありすぎるところだと、自分の持ち歩きWifiが繋がらなかったり、不安定であったりするときがあった。ただし、学校のWifiは安定しており、支障をきたさなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
・ちゃんとホストファミリーのルールに従うこと。 ・海外の方は、LINEではなく、WhatsAppというアプリで連絡を通常取り合うので、日本で予めインストールすると良いかもしれない。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
・私は英米文学専攻に所属しており、特に、イギリス文学や文化を勉強しているので、週1回あったイギリスの文化を学ぶ授業は、大変興味深かった。また、今後の大学での勉強にも繋がるのではないかとも思った。
2) 課外プログラムについて
・放課後の課外活動がいくつもあり、その中でも、ペインティングのクラスではたくさんの人とゲームや会話を通して、英語で交流を深めることができた。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
・8月のイギリスはサマータイムであるので日照時間が大変長く、20時頃でも日本よりも明るいですが、21時から22時にかけて一気に暗くなるので、いくらシェフィールドの治安が良かったとしても、街頭の明かりが心もとないので、注意が必要である。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は、たくさん英語を話す機会が欲しくてホームステイをしたかったのと、1年生のときに英文学史を学んでイギリスに興味を持ったことから、シェフィールド大学の語学研修を選んだ。私の場合、ホストマザーだけであったが、彼女が月曜日から土曜日まで、ほとんど1日中働いているため中々話す機会を得られず、授業以外で英語を話す機会がほとんどなかった。なので、本気でスピーキングスキルを得たければ、積極的に英語を話そうとしたり、その機会を作ろうとしたりと努めることが大変大切であると考えている

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	イギリスの格安 SIM 30GB
現地通学費	1000 円	(研修先まで徒歩 30 分)
教養娯楽費	200000 円	週末旅行
被服費	10000 円	
雑費	15000 円	スーベニア
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にない。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本にいるときに、イギリスの格安 SIM 会社 giffgaff から SIM を発送してもらって現地で登録して使用した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
特にない。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
週末、別の都市に行く際はどのくらい治安が悪いのかネットで調べてホームステイ先に鍵付きのロッカーがあったので、取られて困るものはそこに入れておきました。スリにあいそうになったが、危ないと感じ、逃げた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先と学校に Wi-Fi があったので、困らなかった。しかし、交通機関に乗っているとき、圏外に名布は日常茶飯事だった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
たまたま当たりのホームステイ先でお風呂も入らせてくれて時間制限もなく、作ってくれる料理はとてもおいしくて、とても快適に過ごせた。しかし、ほかのホームステイの話を知ると人それぞれなので、当たり外れがあると感じた。私は、偏食で好き嫌いが多く、ホストマザーに最初からつたえていたので問題はなかったが、人の家だからと言って遠慮することは控えた方がいいと思った。私は最初からいろいろと伝えたおかげで、食事でストレスを抱えることが全くなく、ほかの面でも自分の意志をしっかり伝えたおかげでちゃんとホストマザーと仲良くなった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
モーニングクラスは基本的に少人数のディスカッションを重点的にやるので、英語を話すことが苦にならなかった。自分が発言した文章の中での間違いを先生がメモしていてどこが間違っているかを自分たちで考えたり、間違えた発音を練習したり、実際に使いながら間違いを訂正していった。
2) 課外プログラムについて
バドミントンだけ一度参加したが、特に新しいコミュニティができるわけでもなかったので、あまり参加しなかった。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
日本と違い、雨は降るが乾燥しているのでリップクリームや保湿液は絶対に持っていくべきだなと思った。洗濯は一週間に一度か二度しか基本的にしないので、ファブリーズを持っていくことをお勧めします。シェフィールド大学の学生証を発行するので、それを使ってバスに乗ると、2 ポンドが 1.2 ポンドに変わります。夜は 22 時に歩いても全然大丈夫だった。バスとかの終電は、アイフォンのマップを使って確認していた。21時にやっと暗くなるのでどの場所でも夜景を見る場合は一人で見に行くのは避けるべきである。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

イギリスに行ったことがなかったこと、プリティッシュイングリッシュを体感したかったので、シェフィールドを選びました。また唯一ホームステイで現地の人と確実に知り合えるという点で素敵だなと思ったからである。周りの他大学の子は基本的に寮で生活していて日本人で固まって行動していたので、ほぼ旅行と変わらないと言っていた。しかし、ホームステイは家に帰ってもいい意味で英語を使う環境が確実にあるので英語三昧に慣れてとてもよかった。1ヶ月の留学で英語力以外で学びが多かった。大学のプログラムで行くと、どうしても日本人同士で固まりがちだが、一人行動をすることをお勧めします。または、外国人の友達を確実に作る。すべての外国人が英語話せるわけではないので、同じ学校に通っていた韓国人やサウジアラビア人、ウクライナ人など自分と違う文化を持っている人には必ず話しかけて英語ももちろんほかのことも学ぶことがいい勉強になると思います。週末はとにかくどこかに行くべきだと思います。どこかに行けば、必ず新しい出会いがあってチャンスがいろいろある経験ができるのでせっかく留学に行ったのなら、充実した週末を送って素敵な留學生活を作り上げるべきだと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約20000 円	毎日600円くらいでした。
図書費	0 円	
学用品費	0 円	テキストも先生から配られたので、自分で買うことはなかったです。
携帯・インターネット費	約4000 円	SIM カード20GB 分
現地通学費	約7200 円	(研修先までバスで25分)
教養娯楽費	約70000 円	ホテル代、電車のチケット代
被服費	約20000 円	
雑費	約5000 円	おやつ代
その他	約25000 円	例: 旅行先での娯楽代(博物館等の入場料、映画のチケット代など)
その他	約100000 円	例: お土産代。足りないよりいいと言われていたので多めに買っていました。
合計	251200 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にないです。大学と旅行会社さんがすべてやってくださったので、特に自分たちで何か申し込みをすることはなかったです。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で外貨両替をしていきました。(約5万円分) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIMカードは日本で準備していました。(Threeという会社の10GB分のSIMカードをアマゾンで購入しました。)しかし、現地で使いすぎたのか、足りなくなりそうだったので、現地のThreeの店舗で追加購入しました。最悪現地でも買えるので準備できなくても不安になる必要はないと思います! また、Wi-Fi は持っていきませんでした。Wi-Fi だと外出する際に常にもっていかないとイケなくなるため、個人的には入れ替えもスムーズなSIM がおすすめです!
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
<ul style="list-style-type: none"> ・掃除のときに使用するコロコロ →私のホストファミリーの家では犬を飼っていたので、結構毛が付きまして…。また、部屋の掃除をするのにも使えるので持ってけば便利だったなと思いました。 ・変換プラグをもう1個 →私は1つしかもっていかなかったのですが、スマホを充電しながらドライヤーをしたいときがあり、2個持ってくればよかったと思いました。 ・ファブリーズ →日本とは違い、毎日洗濯ができるわけではなかったので、そんなに汗をかかなかった場合は何日か続けて着ることが多かったです。その際に使う消臭剤的なものと良かったと思いました。 ・のど飴 →これは本当に持って行って良かったです! イギリスは結構乾燥していることが多いので、常備していました。多めに持っていきましょう!!!

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたこ

とはありますか？その際どのように対処しましたか？
常にお財布、パスポート、スマホはボディバッグに入れ、肌身離さず持っていました。シェフィールド内は安全ですが、ロンドンなど都会の方に行くとも多いため、少し危険な感じがありました。犯罪ではないですが、ロンドンに行った際に一緒に写真を撮っただけで多くのチップを要求されたことがありました…。(一緒にいた友達のおかげで何とかりましたが…。)
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
大学のWi-Fiも、ホストファミリーの家のWi-Fiも、すごく安定していたので助かりました。また休日はエディンバラとロンドンに行き、ホテルに泊まりましたが、ホテルのWi-Fiもとても安定していました。

滞在形態関連
1)留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
良いホストファミリーの皆さんに恵まれ、おかげで何不自由なく過ごすことができました。朝食も Help yourself という形で自由でしたし、お風呂も特に制限時間なく入れていました。ご飯も基本的に一緒に食べ、ご飯後も一緒にドラマを見ていました。ただ1ついうと、だんだん日が経つにつれて話す話題がなくなっていく、会話が減ってしまったかな…。という印象があります。なので、行く前に聞いてみたいことをリストにしておくのと良いのではないかと思います。たまに話した英語がうまく伝わらず、落ち込んだときがありましたが、こんなのは誰にでもあることなので、話題を変えたり、より簡単な言葉やジェスチャーをしたりしてうまく伝えるなどすると思います！

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容
午前中はテキストや、スライドに沿って4技能をまんべんなく行っていき形でした。日本とは違い、毎授業「どう思う？」などと当てられるため、自然と英語で自分の意見を形成する力が付いた。また、多少文法が間違っている、とにかく発言をすることが大切だと現地の先生から言われていたため、積極的に発言するようにしていました。そのおかげもあって英語で発言することに自信を持つことができました。授業のトピックも様々でしたが、私は音楽について学んだ回が一番楽しかったです。午後は初日に選択した授業を取るような形だったのですが、私はSocial Englishというものを取っていました。初日の説明を聞き限り、ホテルや電車です使えるような表現を勉強する形だと思っていたのですが、そうではなく旅の計画を立てたり、趣味や休日の過ごし方について話したりなど、グループワーク中心の授業でした。
2)課外プログラムについて
毎週土曜日に5ポンドで行けるツアーがありました。とてもお得なので、行っている人も多かったのですが、予定と行きたい場所が合わなかったこともあって、私は1回も参加しませんでした。その代わりに友達と計画を立て、土日を使って旅行していました。そして、授業後にアクティビティがありました。私はバドミントンとペインティングに参加しましたが、どちらもとても楽しかったです！ほかにも卓球やサッカーのアクティビティもありました。日本の他大学の学生たちだけでなく、韓国や中国の学生さんたちとも交流できる良い機会だったので、参加することをお勧めします！
3)滞在先・現地での生活に関すること
ホストファミリーに恵まれたこともあり、1か月間楽しく生活することができました。途中風邪をひいてしまったことで気持ちがナーバスになったのか一瞬ホームシックになったのですが、最後の方は本当に日本に帰りたくなかったですし、これを書いている今もとてもイギリスが恋しいです…。ご飯に関して不安を抱えている人が多いと思うので記述しておきますが、イギリスの料理はおいしい物ばかりです！！やはり米粒は日本には敵いませんが、そのほかは本当においしい物ばかりでした！私も実際に行く前は不安で、たくさん日本食を持って行ったのですが、結局持って行った日本食は1回も食べなかったです笑。また、この研修の1番の特徴はホームステイであることだと思います。他大学の学生さんたちはほとんど学生寮で過ごしていたのですが、やはり学生寮の学生さんたちは、寮の中で日本語を話してしまうようで、英語を話す機会が少ないのかなと感じました。一方で私たちはホームステイだったので家の中では常に英語であるため、英語力は確実にほかの学生さんより上がると思います！実際私自身もホストファミリーとの会話を通してイギリスの文化やイギリス特有の表現を学ぶことができました。博物館や公園が多く、安全な街なので、どこに行くか悩んでいる方はぜひシェフィールドをお勧めします！

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。
(200字以上)

私がこの研修先を選んだ理由は 2 つあります。1つ目は初めて行くイギリスの文化を知り、アメリカと比較したかったからです。高校生の時に3週間アメリカにホームステイをした経験があったため、アメリカの文化はその時に知ることができたため、今度はイギリスに行って、イギリス特有の文化や英語の表現の仕方を学び、アメリカと比較して今後の学習やキャリアにも生かして生きたいと思っていました。実際に生活してみると、2つの国には大きな違いがあることが分かりました。それは英語の発音だけでなく、人柄や町の雰囲気など何もかもが違いました。これは実際に現地に行ってみないとわからないことだったので、やはり実際に現地で研修をすることは大切だなと感じました。2つ目の理由はホームステイだったからです。これが1番大きい理由でした。高校の時のホームステイの経験から、その国の文化を学ぶことはもちろん、語学力をあげるためには現地の人と英語で話す機会が多い方が良いと思っていました。短期留学であるため、飛躍的に英語力を伸ばすことは正直言って難しいですが、逆に言えば短期間で1番英語力を向上することができるのはホームステイだと思います。実際に私も語学力が上がったと思っていますし、何よりも英語で話すことが怖くなくなりました。もちろんうまく伝わらないこともありましたが、それも含めていい経験ですし、「伝わらない時はこうすればいいんだ！」ということ学ぶことにもつながるので、むしろどんどん失敗したほうが良いと思います。「家族とうまくらせるか心配…」「自分の生活リズムと合わなかったらどうしよう…」という方もいるかもしれませんが、もしそういう場面に遭遇してもシェフィールド大学のスタッフさんや先生が親切に対応してくれるので安心してください。「短期間で語学力をあげたい！」「サッカーが好きだから行ってみたい！」「なんかわからないけどとりあえずヨーロッパ行ってみたい！」など動機はなんでもいいんです！とにかくチャレンジすることが大切だと私は思っているので！一生モノの良い経験になると思うので、ぜひまだ迷っている人はシェフィールド大学を強くお勧めします！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	42000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1900 円	Sim カード1ヶ月分
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 40分)
教養娯楽費	3000 円	映画のチケット代など
被服費	10000 円	シェフィールド大学のパーカーなど
雑費	0 円	
その他	40000 円	例: 旅行交通費、ホテル代
その他	35000 円	例: お土産代
合計	130000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: クレジットカードを 2 枚持参しました。タッチ決済のカードが便利でした。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Giffgaff という sim カードを使用しました。日本まで 10 日ほどで届けてくれました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
<ul style="list-style-type: none"> ●準備して行って助かったもの ・抗菌、消臭スプレー(洗濯の機会が少ないと聞いていたので持って行きました。) ・薬(現地の薬を使うのに不安があったので、頭痛薬と胃散、酔い止めを持って行きました。) ・水筒 ・大きめのビニール袋(洗濯物を入れる際に便利でした。) ・ショルダーバッグ(週末の観光や飛行機で席を立つ際に、貴重品を入れて持ち歩くのに便利でした。) ・ヒートテック(ヒートテックが不要くらい朝と夜が冷え込む日もありました。リバプールなど海沿いの町は、シェフィールドよりも肌寒かったのでヒートテックを持って行って良かったです。) ・保湿剤(日本より乾燥しているので、ニベアを持って行きました。)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学前は、事前学習で紹介されたビデオを見返していました。ホストファミリーからは、ロンドンでスリに気をつけるように言われたので、ロンドン旅行中はスマホを持ったまま歩かないこと、鞆から目を離さないようにしていました。シェフィールドは、ロンドンに比べると治安が良いと思いますが、夜遅くには出歩かないようにしていました。滞在中に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ホームステイ先と ELTC では Wi-Fi に接続していました。Giffgaff の sim カードの接続も問題はなかったです。ロンドンの地下鉄は、地下に入ると電波が悪くなり、調べものができなくなりました。そのため、地下に入る前に電車の乗り換えや時刻表を調べ、その画面をスクリーンショットしてから地下に降りるようにしていました。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は、ほぼ毎日、朝食と夕食をホストファミリーと一緒に食べていました。ホストファミリーが作ってくれる食事が美味しかったので外食はほとんどしませんでした。イギリスでは、朝食と昼食を軽めに済ませて夕食をしっかりとる、というスタイルのようで、実際朝食は少なめの印象でした。シャワーについて、私のステイ先では使用時間などの決まりはありませんでした。しかし、イギリスは日本と水事情が違うと聞いていたので 10 分以内に入るように意識していました。洗濯は週に 1 回というルールでしたが、自分の週末の観光の都合もあり、洗濯をしてもらったのは 2 回でした。下着は多めに持って行き、自分で手洗いする、抗菌・消臭スプレーを使うなど工夫しました。ホストファミリーには、観光の際の交通手段やホテルの予約、おすすめの観光地について教わりました。シェフィールドについても、美味しいレストランやカフェ、観光スポットを教わったり、休日に案内してもらいました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先での役立つと感じたプログラムや内容

・午前授業
 初日のテストの結果でクラスが割り振られました。私のクラスは、韓国人と日本人で構成されていましたが、韓国人が帰ってから、日本人学生だけのクラスでした。授業では、英語の 4 技能を満遍なく教わりました。特にライティングは、先生に添削してもらえたので、細かい文法や言い回しを学ぶことができました。

・水曜日午後の授業
 毎週水曜日のみ、イギリスの文化に関するオンライン授業でした。イギリスの絵画や、音楽について学べて面白かったです。

・水曜日以外の午後の授業
 Social English という授業を選択しました。午前と比べてディスカッションの時間が多い印象です。

2)課外プログラムについて

平日の放課後にはアクティビティがあり、私はバドミントンに参加しました。ELTC の学生以外に、シェフィールド大学の学生も参加していたため、国際色豊かでした。毎週土曜日にある Day Trip では、ヨーク観光に参加しました。£5 で行き帰りのバスに乗れるため、お得だと思いました。

3)滞在先・現地での生活に関すること

平日の昼食は、ELTC 内のカフェや、ELTC 周辺にある TESCO というスーパーマーケットとフィッシュアンドチップスが美味しいお店で買う学生が多い印象です。イギリスはカード社会で、現金が必要になった場面はタクシーの支払いのみでした。そのためクレジットカードの限度額の確認が大切だと思います。友人と食事に行った際に驚いた点として、訪れた全てのレストランでクレジットカードでの割り勘が可能だったということです。天気については、日によりますが、1 日半袖で良い日もあれば、長袖シャツを着ても寒い日もありました。よく天気が変わるので、毎朝 BBC の天気予報を確認していました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

イギリス英語を学びたいということと、イギリスという国に憧れがあったのでこの研修を選びました。留学前は滞在形態がホームステイという点は重視していませんでしたが、1 ヶ月間素敵なホストファミリーのもとで過ごすことができ、ホームステイプログラムを選択して本当に良かったと感じています。シェフィールドに着いてすぐの頃は、英語で話すことに緊張してしまい、不安な気持ちが大きかったです。2 週目以降ようやく、英語力は意識せずに 1 回で通じなかったら何度でも挑戦する、という考えが持てるようになりました。次第に、ホストファミリーと毎日話すことが楽しみになり、様々なトピックについて会話ができました。会話をしていて大切だと感じたのは、事前にイギリスと日本の両方について学習しておくことです。ホストファミリーや ELTC の授業で、「イギリスではこうだけど、日本では違うの？」と尋ねられることが多々ありました。

今回の滞在を通して、イギリスと日本の様々な違いを体験することができました。印象的なのは、接客態度です。日本に比べて、イギリスでは客と店員が対等な関係で、知り合いのような距離感だと感じました。レジで世間話が始まったり、ラフな対応の店員が多く、こちらがかしこまらなくて良い関係性が新鮮でした。日本ではできない多くの体験をし、様々な人と出会い、シェフィールドという町に滞在できて良かったです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	平日の昼食など
図書費	0 円	教科書は大学から配布された。
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	2500 円	事前に Amazon で SIM カードを購入。
現地通学費	11000 円	(研修先まで トラムで30分) トラムは学割が使えませんでした。
教養娯楽費	0 円	
被服費	12000 円	気温が低かったので追加で購入した。
雑費	0 円	
その他	60000 円	例: 観光地への交通費と宿泊費
その他	64000 円	例: お土産と観光費
合計	200000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になかった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で30000円分の現金を換金した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本で購入した SIM カード(Three) 25GB で十分足りた。ホストファミリーの家と大学では Wi-Fi を使わせてもらった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本の5月くらいの気温だったので、厚めの上着を持って行ったのが良かった。 また、バッグ用のワイヤーロックをつけていったことで盗難にあうこともなく、安心して行動することができた。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ホストファミリーとのトラブルがあった際に大学の先生や福祉職員の方に相談したところ、アドバイスと迅速な対応をしていただいた。) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーに危険地域情報や防犯対策について聞いた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なく接続できたが、地下ではほぼ通信ができず少し不便に感じた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	イギリスでは乾燥機が主流と聞いていたが、私のホームステイ先では外干しだったので洗濯の頻度が1週間に1回、それも「明日晴れそう」という予測込みのものだったのでファブリーズと多めの下着類が役に立った。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	私の選択した Speaking & Pronunciation のクラスではとにかくグループで話す機会が多かった。相手を知るような軽い話題から自国の文化に関する話題など興味深いものばかりで、スピーキング能力も向上したように感じる。
2) 課外プログラムについて	毎週末の大学による観光地ツアーでは自分で電車やコーチを予約するよりも格段に安く観光地に行けるのでおすすめです。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	シェフィールドはロンドンに比べると治安が良く、バスやトラムなどの交通の便も良かった。 現金を使う機会が思った以上に少なかったため、現金30000円分は必要なかったように感じる。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語力に自信がなかったために語学留学に興味があったこと、その国の文化を体験できるホームステイに惹かれたことからこのプログラムを選びました。イギリスは多文化社会で、留学中に様々な国籍の方と交流することができたのが印象的でした。自分が今まで知らなかった異文化や新しい価値観を学ぶ非常に貴重な機会になったと思います。そもそも海外渡航経験が少なく英語を話すことも苦手不安に思っていた私でも、この1カ月楽しみながら多くの学びを得ました。英語力が著しく向上するということはありませんが、異文化交流ができるという点や生きた英語を肌で感じるという経験は絶対に今後の人生に大きな影響を与えてくれると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	20000 円	
現地通学費	10000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	130000 円	
被服費	10000 円	
雑費	円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	210000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 外貨宅配サービス その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
レンタル Wi-Fi を使用しましたが、SIM カードを使用している人が多い印象でした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現金・薬・スリッパ

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
海外にいるという自覚をもって気を付ければ大丈夫だと思います。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題はありませんでした。ホームステイ先でも Wi-Fi を使わせてもらっていたので快適に使えました。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	私は留学に対する漠然とした不安から物を多く持って行ってしまいましたが、たいていの物は現地でも揃えることができるのであまり多く持つ必要はないと感じました。また、帰りには現地での購入品やお土産などさらに物が増えるので、少し荷物に余裕をもってパッキングすることをお勧めします。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	Option Class 毎回テーマが異なっていて面白かったです。
2) 課外プログラムについて	あまり参加しませんでした。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	季節は夏でしたが、気温も全然暑くなく、また湿度も低いので快適に過ごせました。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修の一番の感想として、この研修期間が人生において一番濃い一か月になったのではないかと思います。というのも、毎日が学びに満ちていて日々成長しながら過ごせたためです。この学びというのは、英語力についてももちろん含みますが、それ以外の様々な場面においても学びを感じることができました。例えば、現地の方やホストファミリーと関わるときに知ることができる現地の文化や生きた英語などが挙げられます。これらは、その場にいた人しか経験できないことなので、とても興味深く貴重な体験であったと思います。 今回の研修は、もちろん楽しいことばかりではなく、時には大変な思いをしたこともありましたが、それらのことを含めてとてもいい経験になったので参加してよかったです。この研修に限らず、留学は将来の自分の支えとなるような経験になると思うので、迷われている方がいましたら、ぜひとも参加をおすすめしたいです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	24074 円	
図書費	1654 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3325 円	
現地通学費	10681 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	47941 円	バーミンガム、ロンドン、リーズ、ヨーク観光費
被服費	3692 円	靴下、長袖スウェット代
雑費	32036 円	お土産代
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	123403 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港にて両替 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
“Airalo” というアプリで 10GB の eSIM を購入した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
半袖の T シャツばかりを準備していたが、実際は肌寒い日が多かったため、長袖のスウェットを準備しておくべきだと思った。またロンドン等へ遠出をする際に、モバイルバッテリーがあると大変便利。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
観光地へ行く際は、必ず出発前にインターネットで現地の治安について調べるようにしていた。ロンドンへ行く際は特に用心し、高価なものや大切なもの(財布など)は家に置いていくようにした。 実際に、盗難等の犯罪に巻き込まれることはなかった。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の Wi-Fi はたまに繋がらないことがあったが、モバイルデータ通信を利用していたので、あまり不便さはなかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	食事の準備や洗濯などの基本的な家事は、全てホストファミリーが行ってくれたため、非常に生活しやすい環境だった。ただ家によっては食事の時間や入浴時間、門限などのルールが決められていることも多く、自分のホームステイ先も例外ではなかった。(水道光熱費節約のために入浴時間は 5 分、髪を洗うのはなるべく一週間に 2 回程度までなど)ホストファミリーとの良好な関係のためにも、このようなルールの有無はなるべく早めに確認し、その後もこまめなコミュニケーションをとっていくことが大切だと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	授業後に行われていたスポーツやアート等のアクティビティは、新しい交友関係を築くのに最適であると感じた。
2) 課外プログラムについて	自分は参加していないが、毎週末行われる大学主催のフィールドトリップは、かなり安い値段で人気の観光地へ行くことができるため、スケジュールが合うのであれば活用すべきだと思う。
3) 滞在先・現地での生活に関すること	円安だけでなく物価も高いため、日用品はできるだけ日本から持参し、平日の昼食などもホームステイ先から調達すると良い。また通学でバスやトラムを利用する人は、学生用の定期券がお得なのでおすすめ。水筒を持っていくと、現地でペットボトルを買う必要がなくなり、節約になる。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回このシェフィールド大学への研修を選んだ主な理由は、歴史の深いイギリス文化に触れることができるからであったが、実際現地での生活を通して、それ以外にも多くのことを学ぶことができた。

特に印象深かったのが、ホストファミリーの環境に対する意識の高さである。具体的には、ジップロックの再利用などプラスチックごみの削減に積極的に取り組んでいた。このように私生活の範囲内で出来ることから取り組もうとする姿勢は、日本ではあまり見られないため、大きな衝撃を受けた。また、ホームステイをする上で欠かせないのがコミュニケーションである。今日は何時に帰るのか、夕飯は必要か、週末は外出するのか…など、些細なことではあるが、同じ屋根の下で生活していくためには必要不可欠な情報である。このような小さな情報共有を意識して行うことで、今一度人間関係を築く上でのコミュニケーションの重要性を認識することができた。

このように、他国でホームステイをしながら生活することは、多くの学びの機会を与えてくれる。そして何よりも、英語力の向上に最適である。生の英語に触れ、また自分の視野を広げたい学生には、このシェフィールド大学への研修を強くおすすめしたい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4万2000円	
図書費	0円	
学用品費	0円	
携帯・インターネット費	約2万5千円	Global WIFI(ポケット)、e-sim Ubigi(低価格で回線も早くおすすめ)
現地通学費	約1万円	(研修先まで 約60分)
教養娯楽費	5万5千円	旅行、サッカー観戦
被服費	9万5千円	靴3足、古着2着
雑費	8000円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	23万5千円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)はどのように準備しましたか
最初は global wifi という空港で借りることができるポケット Wi-Fi を利用していましたが、あまりにも使えないため途中から Ubigi という e-sim を利用しました。e-sim はアプリをダウンロードし購入することで簡単に利用できました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
自分の好きなインスタントの日本食。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:友人) 特記事項: Wi-Fi の繋がりが悪く、友人に教えてもらった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に防犯対策はしなかった。シェフィールド内は夜一人で歩いても大丈夫であったが、なるべく複数人でいたほうが良い。一度電車で荷物を盗みかけられた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

グローバル Wi-Fi は料金が高い割には接続が悪かった。大学内の敷地内では Wi-Fi に接続が可能であったためそれをよく使用した。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホームステイ先の料理はおいしくなかったが、とても親切で嫌な思いをすることはなかった。ホームステイ先は運だが、あらかじめ家庭内のルールを確認することが大切。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容
発音に特化した授業では、R と L、V とBの発音の違いなどを一人一人チェックし、フィードバックするという内容であったためとても役に立った。
2) 課外プログラムについて
放課後にあるアクティビティは他の国からの留学生と交流することができるが、現地のイギリス人は全くいない。
3) 滞在先・現地での生活に関すること
週末や放課後は課題に追われることなく、自分の好きなことに時間を使うことができる。ロンドンやスコットランド中にはパリにまで旅行に行った友人もいた。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

ブリティッシュ英語を学んでみたいという理由とホームステイ形態の語学要件がない短期留学がこのプログラムしかなかったため。研修先ではあらゆる国からの留学生と交流できるが現地の同年代のイギリス人と交流する機会がほとんどなかったため残念だった。この留学は英語を喋れるようになるというより、海外に慣れ英語学習のモチベーション向上を目的とした留学だ。そのため、まだ一度も海外に行ったことなく、これから中長期で留学を考えている私にとっては有益な留学だった。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3,000 円	
現地通学費	22,000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	130,000 円	旅費等
被服費	12,000 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	202,000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地の携帯ショップで SIM カードを購入しました。 50GB で 3000 円でした。Wi-Fi はおすすめしません。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
SNS や現地のニュースを見て、ストライキやデモの情報を得ていました。ホストファミリーも教えてくれます。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

SIM を利用していたので全く問題ありませんでした。ギガ数は 30GB もあれば充分かとおもいます。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	ホストファミリーはとても親切で、他の街へ遊びに行きたいと話すと、色々情報を教えてくれました。私は特にトラブルも無く、非常に楽しいホームステイでした。が、夕飯を家で食べるか否かは何度か伝達ミスがあったので、毎日連絡して伝えた方がいいです。また、私は連絡ツールとして what's up を使いました。現地でダウンロードするのは少し面倒だったので、出発前のインストールをおすすめします。 アドバイスは、洗濯が週に 1 回のみなので、下着と靴下を多めに持って行く事です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容	授業は当たり前で全て英語で行われますが、生徒たちの意識が高く、休み時間やプライベートでも英語で会話を行う事が沢山ありました。周りが日本人ばかりで結局日本語ばかり話してしまったという話をよく聞きますが、その点このプログラムではそう言った事が起こりにくいのではないかと思います。
2) 課外プログラムについて	学校独自のプログラムで、別の街に引率してくれるというサービスがありました。往復でも 1000 円程度で、とてもお得なプランでしたが、私はチケットが取れずに参加出来ませんでした。利用したい場合は、お知らせが来た直後に申し込みを行った方がいいです。
3) 滞在先・現地での生活に関する事	やはりこのプログラムの醍醐味はホームステイです。ホストファミリーと一緒に食事をしながらお話しする時間は本当に楽しく、留学に来てよかったなと思えるはずで。

留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ヨーロッパへ行くことが小さい頃からの夢だったのに加えて、ホームステイができるのがこのプログラムだけだという事からこちらを選択しました。シェフィールドはとても穏やかな街で、現地の方もとても優しいので、海外に慣れていなくても特段心配することはありません。ただ、分からなかったり、何か言いたい事がある時は、絶対に一生懸命伝えようとして下さい。特に、私はバスでのやり取りで何度か意思疎通が上手くいかず、間違ったチケットを買ってしまったたり、運転手にイライラされたりという事がありました。研修中はシェフィールド以外にも様々な都市を訪れるかと思えます。是非楽しみながらも、交通機関を使う際にはどこに行きたいのか、自分の意思をはっきり伝えて、快適な旅にしてください。